

# 沿岸の海域では、これから春先にかけて 強風・高波に注意が必要です。

春先にかけてのこの時期、前線や低気圧の通過後は西高東低の冬型となり、大陸高気圧が張り出し強風、高波による海難事故が多くなります。注意報・警報、気象情報を活用して海難事故を防ぎましょう。

表は、気象要因による冬季から春先にかけての沖縄県内での海難事故の発生件数です。

2012年～2016年の5年間で、沖縄では冬から春先にかけては、海難事故が15件発生しており、12月は7件と最も多くなっています。

このうち、宮古島では、11月1件、12月3件、1月2件の計6件が発生、内、3名(行方不明含む)の方が犠牲となっています。

宮古島地方気象台は、急な風の強まりや急な波の高まりが予想される場合、注意報や情報を発表し注意喚起を呼びかけています。

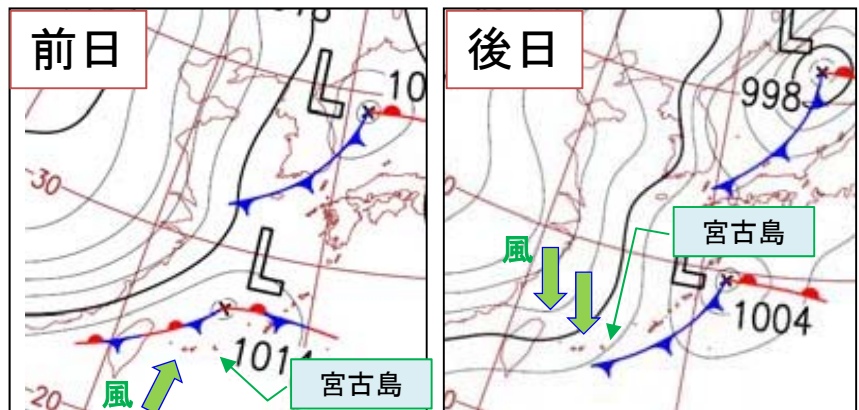
気象要因による沖縄県内の海難事故件数  
(2012～2016年、11～4月、気象庁災害報告より)

月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
件数	3	7	3	0	1	1

## ◇なぜ冬季から春先の強風や高波が危険なのか

右図は、宮古島地方を低気圧や前線通過前日と通過後の天気図です。

低気圧や前線の通過前は、南より風で海も比較的穏やかな状態ですが、通過後は北よりの風が急に強まり、波も急に高くなって海はしけます。その後も、強風が続き、2日程度しけの状態が続きます。



## ◇注意報、警報、気象情報の活用

強風や高波時には注意報、警報を発表します。また、特に危険な状況である大しけやそれに近いしけ(波高5m)、風や波の急激な強まりや高まりの予想が顕著な場合には、2日程度前から、「強風(又は暴風)と高波に関する宮古島地方気象情報」も発表します。

マリレジャーや船舶など海での活動の際は、気象台ホームページなどを使って自ら気象情報を必ず事前に気象情報の確認をお願いします。

平成29年12月 5日 10時29分 宮古島地方気象台発表

宮古島地方の注意警戒事項  
宮古島地方では、強風や高波に注意してください。

宮古島市 【継続】強風、波浪注意報

宮古島市 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)								(備考・ 関連する現象)	
	5日				6日					
	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	
強風 風向風速 (矢印・メートル)	15	15	15	15						
波浪 波高 (メートル)	4	4	4	4	4	4	4	3	3	以後も注意報級

注意報や警報には、注意や警戒が必要な期間や風速、波高が載っています。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ  
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ/8:30~17:15)